

行政 *administration*

御前崎市長

石原茂雄



新春をことほぎ、謹んでお慶びを申し上げます。皆さまには、御前崎市政に対し格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

低迷にあえいできた地域経済も、回復の兆しが見えたとはいえ、長期にわたる円高が企業の生産活動を停滞させ、不安定な雇用状況は市民生活さえも脅かしております。

富士山静岡空港開港から1年半が経ちました。県西部の東の玄関口として、空港開港で得られたビッグチャンスを発展へとつなげていくためには、行政や企業、団体、市民が知恵を絞り、官民一体となつて、人が集まるまちづくりを進めていくことが重要です。本年は、御前崎のシンボルである灯台周辺を、魅力あふれる観光地として再生するため、整備計画を作り上げてまいります。多彩なイベントも、市民や企業の活力を注入しながら誘客につなげられるよう努力してまいります。

昨年8月、御前崎港は国が重点的に整備する43港湾に選ばれました。市の発展に港の活性化は欠かせない要素であります。荷主企業の確保のため関係機関と協力しながら、まず県西部地域へ、さらに県内へと徐々にエリアを広げながらポートセールス活動に努めてまいります。

第一次産業への活力注入、雇用不安や経済再生への支援、原子力発電所との共生、地域医療と消防体制、福祉や教育の充実など自立へ向けての課題は山積しておりますが、市議会や市民各位の意見を生かしながら、一步一步進んでまいります。

今年はいさぎ年。農業や漁業、商工業など各産業へ携わる皆さまが、より高く、遠くへ跳ねることが多く、元気を発信できるようお願いいたします。

迎えた平成23年が、皆さまにとつて飛躍の年となりますようお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。